

## 平成27年度指定管理者評価シート

## 1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市東大宮コミュニティセンター外3施設
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市見沼区東大宮4丁目31番地1(さいたま市東大宮コミュニティセンター) さいたま市見沼区大字大谷1210番地(さいたま市七里コミュニティセンター) さいたま市見沼区染谷3丁目147番地1(さいたま市片柳コミュニティセンター) さいたま市北区吉野町2丁目195番地1(さいたま市宮原コミュニティセンター)</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動のための施設として設置</p> <p>③施設の概要 (さいたま市東大宮コミュニティセンター) 【開館】昭和57年9月1日 【構造】鉄筋コンクリート造 地下1階・地上4階建 【敷地面積】2,020.52㎡ 【延床面積】3,604.53㎡ 【主要施設】ホール(定員200名)、体育室(定員174名)</p> <p>(さいたま市七里コミュニティセンター) 【開館】平成12年4月10日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上2階建 【敷地面積】2,448.08㎡ 【延床面積】2,127.82㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員220名)、第1集会室(定員18名)</p> <p>(さいたま市片柳コミュニティセンター) 【開館】平成18年4月1日 【構造】鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階建 【敷地面積】8,967.98㎡ 【延床面積】5,211.35㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員400名)、多目的ルーム(定員163名)</p> <p>(さいたま市宮原コミュニティセンター) 【開館】平成12年4月10日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上3階建 【敷地面積】2,458.79㎡ 【延床面積】3,393.39㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員312名)、レクリエーションルーム(定員30名)</p>
(3)指定管理者	公益財団法人さいたま市文化振興事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成25年度 225,872千円 平成26年度 232,326千円 平成27年度 232,326千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 【利用件数】47,592件(前年度 50,017件) 【利用人数】365,789人(前年度 371,270人) 【稼働率】78.1%(前年度 78.2%) 【利用率】38.1%(前年度 41.1%)</p> <p>◇業務実施状況 ・コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施 ・コミュニティ活動等の情報提供・相談対応 ・施設の貸し出し</p> <p>②維持管理業務の状況 ・施設、設備等の保守管理及び修繕を実施</p> <p>③その他(自主事業等) 【自主事業(さいたま市東大宮コミュニティセンター外3施設)】 ・ハンドベルワークショップとロビーコンサート(80)、親子ハンドメイドクラフト講座(24)、パソコン講座(40)、伝統文化折り紙講座(17)等、各種講座を開催 ※( )内の数字は、参加人数</p>
(6)収支状況	<p>①収入 ・指定管理料 232,326千円(前年度 232,326千円) ・自主事業収入 916千円(前年度 804千円) ・その他収入 1,292千円(前年度 1,368千円)</p> <p>②支出 ・人件費 105,738千円(前年度 105,969千円) ・事務費 1,197千円(前年度 1,158千円) ・施設管理費 123,093千円(前年度 126,995千円) ・自主事業費 1,791千円(前年度 1,651千円)</p>
(7)その他	地域連絡協議会を年2回開催し、地域コミュニティの推進と社会福祉の向上を図るとともに、同協議会にて提案された意見・要望などを生かし、市民ニーズに即応した円滑な施設運営を行った。

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施	各種講座や普通・上級救命講習等を開催したほか、コミセンまつり、映画鑑賞会やコンサートなど、合計104事業を実施し、18,312名の参加者を得た。 また、市内16のコミュニティセンターと2つのプラザにおいて地域支援の場の提供を目的とした「ぐるりパネル展～みなさんの活動をひろく広報しましょう～」を市民活動サポートセンターと協働開催した。
コミュニティ活動等の情報提供・相談対応事業	事業団ホームページや事業団情報誌SaOLaの発行により、施設で実施する講座等を紹介するとともに、コミュニティセンターだよりを月1回発行し、施設の利用情報や、施設を取り巻く地域の情報を掲載し、市民への情報提供に努めた。 また、施設利用に関する案内以外にも積極的に対応するため、市民相談コーナーを設置し、問題解決のための情報を提供するとともに、関係機関の紹介を速やかに行った。
施設の貸出	パソコンが苦手な方のために予約を補助、代行するとともに、接遇研修の受講等を生かし、丁寧な接客を心がけ、施設利用者及び利用率の増加に努めた。 また、利用する施設以外のコミュニティ施設で申請・入金ができる「他館申請」サービスにおいては、全施設の合計で4,951件、5,397,790円を取扱った。
施設維持管理	指定管理協定書の維持管理計画表に基づき、施設・設備等の保守点検や清掃を実施するとともに、適切な修繕を行い、安全かつ快適な環境整備に努めた。 また、電気・水道・ガス等の省エネに取り組み、光熱水費の縮減を図りつつ、管理運営に必要な物品等について、できる限り再生品を購入するなど、環境負荷の低減に努めた。
市施策事業との連携	七里コミュニティセンターにおいて、「東宮下小学校児童作品展」、「大谷中学校美術部作品展」、「大谷中学菊花展」等を近隣小中学校と開催し、連携を図った。 また、東大宮コミュニティセンターにおいて、「普通救急救命講習」、七里コミュニティセンターにおいて、「普通救命講習Ⅰ」、「上級救命講習」、宮原コミュニティセンターにおいて、「救命救急講習」を、さいたま市消防局との共済事業として開催し、連携を図った。
利用者満足度調査	施設利用者には「職員の対応」・「施設・設備」等について、講座参加者には「講座内容」・「今後の希望」等について、それぞれアンケート調査を実施し、利用者の満足度向上に向けて改善を図った。 また、アンケート結果や改善内容については、自由に閲覧できるように受付窓口を設置した。

## 3. 評価

### (1) 指定管理者による評価

<p>利用者が安心・安全、かつ快適にご利用いただけるよう、法令に基づく法定点検のほか、設備や備品等の適正な維持管理に努めた。また、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)を具体化した、「コミュニティ振興プラン」に基づき、地域において学習できる環境及び市民・団体同士が交流を深めることができるような事業を実施した。 今後においては、あらゆる角度から市民の意見を積極的に取り入れながら施設運営に努めるとともに、広報活動の強化を図り、利用者の増加に努めます。</p>
---

### (2) さいたま市の評価(評価担当課: 市民局市民生活部コミュニティ推進課)

<p>総合評価 <b>(B)</b> ※A~D</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東大宮コミュニティセンターでは、体が不自由な方へのフォローや、ロビーの飾りつけやBGMなど、職員の努力と工夫により、施設が古く、バリアフリー等の面で不利な状況をソフト面での対応で補うことができている。</li> <li>・七里コミュニティセンターでは、冬の降雪時に備えて、電動式の除雪機を新たに購入するなど、施設利用者の安全面や利便性を考えた対応が取られている。</li> <li>・片柳コミュニティセンターでは、アンケートによって利用者のニーズをくみ取り、それに即した事業(コンサート系の事業など)を多く行うことで、利用者の増加に繋げている。</li> <li>・宮原コミュニティセンターでは、地域連絡協議会での意見を踏まえ、地元自治会のコミセンまつりへの参加や、幼稚園児の作品展等の事業を実施していることから、地域交流機能が活用されていることが伺える。</li> </ul>
---

### (3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

<p>引き続き、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実と市民との協働が図れるよう、コミセンまつりははじめとする自主事業の積極的な展開を行うよう指導していく。</p>
---